

消防訓練実施一覧（令和6年度）

No.	行政区	実施日	事業所名称	訓練概要
1	緑	5月20日	青少年宿泊センター	屋内消火栓設備の取扱い訓練
2	港	6月26日	共立マテリアル株式会社及び 株式会社ノリタケカンパニー リミテド港工場	消火・避難訓練

訓練記録表

タイトル	青少年宿泊センターにて屋内消火栓設備を使用した訓練を実施
日時	令和6年5月20日
場所 (事業所名等)	緑区 青少年宿泊センター

概要

緑消防署職員が立会いのもと、青少年宿泊センターにて屋内消火栓設備の放水訓練を実施しました。初めて放水訓練を実施するとのことで、ホースの延長や消火ポンプの起動方法を確認した後、放水訓練を行いました。



火災発生場所によって、どこの屋内消火栓設備を使用すればいいのか、何名いれば操作できるのかなど、確認を取りながら実施することで防火意識の向上にも繋がりました。

訓練についてのお問い合わせ先

緑消防署予防課 TEL：052-896-0119
Email：14yobo@fd.city.nagoya.lg.jp

訓練記録表

タイトル	港区内の事業所で消防訓練を実施しました。
日時	令和6年6月26日(水)9時00分
場所 (事業所名等)	共立マテリアル株式会社及び株式会社ノリタケカンパニーリミテド港工場

概要

共立マテリアル株式会社、株式会社ノリタケカンパニーリミテド港工場では、年2回以上を目安に消防訓練を実施しており、今回は「更衣室から火災発生→初期消火→避難完了」までを想定した火災対応訓練を実施しました。

訓練後は、消防用設備等の点検のプロである東海報知機株式会社の方が訓練参加者に対して消防用設備等（自動火災報知設備・消火器・屋内消火栓設備）の操作方法の指導をしました。



自動火災報知設備の展示用セットを用いながら説明を受けることで、自動火災報知設備の**基本操作方法**や**感知器の種別の違い**等について理解を深めることができました。



消火器訓練では、基本的な操作だけでなく、**大声で火災発生を周りに知らせる**大切さと、消火薬剤の性状や放射時間等について学びました。



屋内消火栓設備訓練では、3人1組で**声を掛け合いながら協力して操作**することで、円滑にホースを延長し、放水活動を行うことができました。

訓練についてのお問い合わせ先

名古屋市港消防署 TEL:052-661-0119 / FAX:052-653-0119